

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	保健体育課健康づくり推進室長 秦 美沙江	電話番号	0852-22-5425
----------	----------------------	------	--------------

事務事業の名称	学校給食指導事業		
目的	(1) 対象	児童生徒	
	(2) 意図	バランスのとれた安全な給食を提供し、健康増進、体力向上を図り、正しい食習慣を身につける	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食全般に係る知識・理解を深め、意識向上を図るため、学校給食関係者に対し、研修会を実施する。 安心安全な学校給食推進のための体制整備を図るため、学校給食調理場を訪問し、指導する。 学校給食のさらなる充実のために、学校給食に関し優れた取組を行っている学校・協同調理場を表彰する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	学校給食調理場訪問率	目標値	19.3	19.5	19.8	20.0	%
	式・定義	訪問調理場数/全調理場数	取組目標値					
			実績値	16.7				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					%
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	172	239
うち一般財源(千円)	172	239

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・研修会において、学校給食における地場産物の活用についての意識啓発を図ることにより、地場産物活用割合が前年度57.0%から58.6%へ向上した。
 ・学校給食における食中毒の発生は1件もなかった。異物混入は前年度16件(報道分)から3件になった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・安全安心な学校給食の提供をめざして、研修会の実施や調理場訪問による衛生管理に関する指導を行うことで、その意識が高まってきている。また、地場産物の活用割合も関係者の努力により向上している。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
 ・地場産物の活用割合は県全体では高まってきているが、地域によってこの割合に差がみられる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 ・地域によっては、供給量、予算面、加工状況などのため地場産物を活用しにくい状況があることが考えられる。
- ③原因を解消するための「課題」
 ・学校給食関係者研修等をとおして、各地域の地場産物活用状況をお互いに知ったり、地場産物を上手に活用する方法を考えたりし、新たなアイデアをもつ。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)